

「コンサ百年の森づくり」 2011年度事業報告

2011年度の「コンサ百年の森づくり」の事業活動のご報告をいたします。

8月 植樹部分の下草刈り（森林ボランティア協会スタッフのみなさん）

12月20日 「森の教室」の開催（小樽市立銭函小学校の児童）
石狩森林管理署のご協力のもと、カミネッコン作りや森の仕組みについてお話
※コンサドーレ札幌の宮澤選手が参加しました。

『コンサ百年の森づくり』とは

コンサドーレ札幌は未来の子供たちに豊かな緑を残すため「コンサ百年の森づくり」を一昨年6月にスタートしました。2004年9月の台風18号によって甚大な風倒被害を受けた支笏湖周辺国有林のうち、11.63ヘクタールを対象に植林活動を行い、失われた森の復興を目指しております。2008年度からの植樹により、2010年度までに7,700本の植樹を行いました。

また、2009年度から小学生を対象とした「森の教室」を開催しています。カミネッコン作りや森の仕組みについての授業を行い、森や自然、環境についての理解を深める活動を展開しています。

『コンサ百年の森づくり』では、2011年度の「森の教室」を下記の通り、実施いたしましたので、ご報告いたします。

2011年12月20日 コンサ百年の森づくり『森の教室』

石狩森林管理署の方を講師にお迎えして、小樽市立銭函小学校の約100名の児童を対象に、カミネッコンを段ボールの型紙から作って苗木の準備をする授業を開催しました。児童たちは、出来上がったカミネッコンに思い思いのメッセージを書き入れて仕上げました。

その後、森の仕組みについてのお話をして森林や自然、環境について学びました。



コンサドーレ札幌の宮澤選手が参加し、児童達と一緒に取り組みました。

また、「森の教室」終了後、選手やコーチと一緒にミニサッカー教室を実施しました。

参加した児童達は、

「初めて体験しました。楽しかったです。」

「森についてとても勉強になりました。また開催してください。」

「宮澤選手と一緒に参加できて、嬉しかったです。」

など、喜びと感謝の感想を聞くことができました。



今回は児童の意識や取り組み方が、選手と一緒に参加することによって向上していたと感じました。

これからも「森の教室」を通して、北海道内の子供達へ森林や自然環境についての理解を深める取り組みを実施していきます。

平成23年度 収支計算書

(単位：円)

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

コンサ百年の森づくり基金

科 目	金 額	備 考
I 経常増減の部		
1. 経常収益		
(1) 寄付金収入	100,000	
(2) 受取利息	120	
経常収益計	100,120	
2. 経常費用		
(1) 事業費		
① 植樹活動費	227,000	技術協力費、森の教室
(2) 管理費		
① 支払手数料	840	
② 租税公課	23	
経常費用計	227,863	
当期経常増減額	△ 127,743	
II 経常外増減の部		
1. 経常外収益	0	
経常外収益計	0	
2. 経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外増減額	0	
当期正味財産増減額	△ 127,743	
正味財産期首残高	589,419	
正味財産期末残高	461,676	

平成23年度 貸借対照表

(単位：円)

平成24年3月31日現在

コンサ百年の森づくり基金

科 目	金 額	備 考
I 資産の部		
1. 流動資産		
(1) 現金	298	
(2) 預金	461,378	
流動資産合計	461,676	
資産合計	461,676	
II 負債の部		
1. 流動負債	0	
流動負債合計	0	
負債合計	0	
III 正味財産の部		
1. 一般正味財産	461,676	
正味財産合計	461,676	
負債及び正味財産合計	461,676	